

学習だより

第11号

令和4年3月23日発行

宇都宮市立姿川中学校学習指導部

文責 大島 信子

◇今年度を振り返りましょう◇

令和3年度修了式 3月24日(木)

令和3年度もコロナ禍により学習活動が制限された中で、生徒の皆さんは学習の約束を理解し、よく頑張ってきました。皆で協力し合い、一つ一つできることに一生懸命取り組み、そして楽しむ姿は輝いていました。担任の先生から手渡される通知表を見ながら、今年度の自分を冷静に振り返り、この1年間の成長を実感するとともに次年度へ向けて新たな目標を立て、更に実力を伸ばしてください。中学校時代に一生懸命勉強した経験は、社会に出てからの皆さんを支える土台になるものです。



【授業・家庭学習強化週間③の振り返り】

2学期期末テスト対策として、1月25日から2月7日までの11日間の自主学習ノートの提出率を、各クラスの図書委員会学習班の生徒が記録しました。結果は、次の通りです。

《第3回 自主学習ノート提出率ベスト3》

	第1位	第2位	第3位
1 年	4組	7組	1組
2 年	3組	5組	6組

《提出率100%になった上位クラス》

10日間達成 1年4組・2年3組
8日間達成 1年1組・1年7組
6日間達成 2年5組・2年6組

(提出率は、出席者数に対する提出者数の割合です。)

期間中の提出率が高いクラスは、100%を達成した日数も多く、クラスみんなでテスト対策に取り組んできたことがうかがえます。また、2年生は、全クラスとも平均提出率が90%を超えていました。

テストの得点がアップした人の自主学習ノートを見ると、やはり学習の仕方が違います。「これをできるようにするために何をしたらよいか」を考えて、ポイントを押さえた学習をしています。限られた時間の中で最大の成果を収めるためには、目的を明確にし集中した学習が必要です。東ギャラリーにベストノートを掲示していますので、是非、効果的なやり方を取り入れてみてください。



【令和4年度4月の実力テスト・学習状況調査予定】

4月12日(火) 第1回実力テスト(5教科) 対象:新2・3年生

※テスト範囲表は1年生は配付済み、2年生は「春休みのしおり」にあります。

4月19日(火) 全国学力・学習状況調査(国語・数学・理科・生徒質問紙) 対象:新3年生

とちぎっ子学習状況調査(国語・社会・数学・理科・英語・質問紙) 対象:新2年生

※上記2つの調査範囲は、令和3年度までに学習した内容です。

◇春休みの学習について◇

1、2年生ともに4月には学年が上がり、新2、3年生としてスタートします。春休み明けに実力テストが予定されていますので、今年度までに学習した内容をよく復習して、テストに臨みましょう。特に、苦手意識のある教科や内容は、時間のある春休みにじっくりと取り組み、克服しておきましょう。学習はつながっていますので、現学年のまとめをしっかりと行い、新学期からの授業に前向きに取り組めるように、春休み中も家庭学習の習慣を継続していくことが大切です。

また、読書の時間を確保し、読解力を高めるとともに読書の楽しさを味わってください。



◇宇都宮市「学習と生活についてのアンケート」の結果より◇

令和3年12月7日（火）に行われたアンケート結果から、学習面の一部を抜粋してみました。数値は各学年の市の平均との差を表しています。（詳しくは、姿川中学校ホームページをご覧ください。）

○本校の肯定回答割合が1、2年生ともに宇都宮市の平均より上回った項目

質 問 項 目	1 年 生	2 年 生
① 授業で習ったことを、その日のうちに復習している。	+ 4.1	+ 8.8
② 自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。	+ 0.7	+ 3.2
③ パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる。	+ 4.5	+ 3.3
④ 学習して身に付けた知識は、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う。	+ 1.5	+ 1.4

上記③の本校の肯定回答割合は1、2年生ともに80%を超え、昨年度の結果より大きく伸びました。一人一台端末の導入による「SUGA スクール」の取組の成果です。また、④の本校の平均肯定回答割合は約96%であり、生徒は学習の必要性を自覚して、家庭学習に取り組んでいることがうかがえます。

▲本校の肯定回答割合が1、2年生ともに宇都宮市の平均より下回った項目

質 問 項 目	1 年 生	2 年 生
① 学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	- 1.9	- 2.4
② 授業中、先生や友だちの話を、最後まできちんと聞いている。	- 1.3	- 0.6
③ グループなどでの話合いに自分から進んで参加している。	- 0.6	- 1.4

上記②の本校の肯定回答割合は、1、2年生ともに92%を超えています。しかし、市の平均よりはやや下回り、これらの結果から、学習に対して消極的であることがうかがえます。

◇成果と課題について学年の特徴が見えてくる項目

質 問 項 目	1 年 生	2 年 生
① 自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	+ 3.1	- 3.9
② 新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	- 1.6	+ 5.5
③ 宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	- 4.5	+ 4.2
④ テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	- 2.9	+ 5.5
⑤ 家の人は、あなたの学習に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	- 1.2	+ 3.2

「授業を集中して受けている。」に対する本校の平均肯定回答割合は約88%であり、全体的に見て生徒は学習の約束を守り、落ち着いて授業に臨んでいることが分かります。

平日の家庭学習時間については、「2時間以上」と答えた生徒の割合が1、2年生ともに市の平均回答より上回り、「ほとんどしない」と答えた生徒の割合が下回っていることから、家庭学習の習慣は身に付いてきています。今後は家庭学習の内容の質を高めていくことで、一層の学力向上が期待できます。ご家庭でも学習のアドバイスや励ましなど、お子様のやる気につながる言葉かけをお願いいたします。

平日の読書時間については、割合が最も高かった回答が1年生は「30分くらい」、2年生は「10分くらい」で、どちらも市の平均回答より上回っています。また、「ほとんど読まない」と答えた生徒の割合は、1、2年生ともに市より12ポイント以上下回り、朝の読書時間が確保されていることが分かります。

しかし、休日では生徒の約半数が「ほとんど読まない」と答えています。読書をすることで、読解力を高めたり心が豊かになったりするなど、大きな成果が期待できます。この機会に、普段の学習や生活を振り返り、学力を伸ばすためのより良い習慣について考えてみましょう。

